

図書委員がおススメします



紹介した本は館内中央の「図書委員おすすめの本コーナー」に展示しています。借りてね！

『ジェノサイド』高野和明 角川書店

大学の薬学部に通う研人のパソコンに届いたのは、死んだ父からのメールだった。一方、傭兵のイエーガーは息子の病気を治す金を稼ぐためアフリカへ危険な任務に赴く。この2人はどういう関係にあるのか、そして物語はどこに進むのか…。

多くの著名人も絶賛しているエンターテインメント大作です。

『公開処刑人森のくまさん』堀内公太郎 宝島社文庫

「森のくまさん」と名乗る、犯行声明をネットに公表する連続殺人鬼。捜査本部は血眼で犯人を追うが、それを嘲笑うかのように惨殺は繰り返され、世間は騒然となる。一方で悩む女子高生の前に現れた謎の男。続編『公開処刑人森のくまさんお嬢さん、お逃げなさい』もあります。皆さんもぜひ読んでみてください。

図書委員会・新書案内班では、毎月おすすめの新書1冊を紹介しています。今年も、新しく新聞班が結成され、気になる記事を紹介する取り組みも始めました。各階の廊下に内容を掲示しています。ぜひ、皆さんもチェックしてみてください。



生徒朝礼で紹介があったように天草高校の読書活動が全国表彰を受けました。昨年度は生徒一人当たり17冊貸出がありました。熊本県の高校では平均7冊程度ですから図書館利用は活発だといえますね。今後も、朝の読書の時間を上手に活用してください。毎日10分ずつでも1週間で50分！きっと3年間で得る知識は相当なものになるでしょう。ぜひ新書や専門書にも挑戦してみてくださいね！

こぼれ噺～図書館で耳にしたつぶやき～

頭語をSSHで始める“SSH川柳”を募集しました。
「サッカー部 最近 走りがきついです」
「最終日 しぼりきったぜ 百点だ」
「世界史の スタッフ 福田くん」
「正社員 サンシャイン 派遣社員」
「少年に 小説よませる 広い心」

名句・迷句、ひらめいたらぜひお寄せください！

- ・「先輩は古典単語ですか、
僕はデータベースです。」
小テストに臨む同士、励ましあってね。
- ・「この本、もっと純粋な時に会っておきたかった」…。逆に今だから味わえる本もあるさ。
- ・「前の自分も、今日の自分も、手に取る本は同じなんだ」 ためらわず、借りてみて。
- ・「司書って、本のソムリエ？」 うまいっ！